

## 令和7年度 OB 医師によるキャリア講話

令和7年9月13日(土)、本校にて高校1年生の医学部志望者を対象とした「OB 医師によるキャリア講話」を開催しました。今回は、本校卒業生であり、現在は茨城県立中央病院で腎臓内科医として活躍されている秋山稜介先生をお招きし、「医師という仕事の魅力と責任」「進路選択の大切さ」などについてご講話いただきました。

講話では、医師としての日々の業務ややりがい、医療現場での実体験を交えながら、命と向き合う職業の重みについて語っていただきました。また、高校時代の学びや進路決定の過程についても触れられ、生徒たちは自分の将来を考える貴重な機会となりました。特に、秋山医師から生徒へ「高校3年間の教科の授業は大学に入るための学びで、大学に入ってから将来の目的の勉強になるので、大学は毎日が楽しくて仕方がないくらい充実する。だからこの3年間は受験のために必要な時間ととらえ、辛いけれど何事に対しても頑張りたい」という激励のメッセージもあり、生徒は真剣な姿勢で講話を聞いていました。

生徒からは「医師という職業に対する理解が深まった」「Noblesse Oblige(フランス語)という言葉が印象に残った」といった感想が寄せられ、非常に有意義な時間となりました。

※Noblesse Oblige：一般的に社会的な地位を持つものは社会的な義務を伴うということ

